

2007年11月 6日  
東日本旅客鉄道株式会社

## 東北新幹線における高速化の実施について

～ 新青森開業後における段階的な高速化 ～

JR東日本では、お客さまサービスの向上を目的として、2005年度から新幹線高速試験電車「FASTECH360」による走行試験を実施し、320km/hの営業運転性能を有する仕様の量産先行車を製作することを既に決定しておりますが、このたび、東北新幹線における高速化の計画概要がまとまりましたのでお知らせいたします。

今後、この計画にあわせて、騒音対策等の必要な地上設備の整備を実施します。

### 東北新幹線高速化の計画概要

高速運転を実施する区間は、東北新幹線大宮～盛岡間とします。

高速運転は、新型車両で実施します。

営業運転の高速化は、2010年度末から2013年度末まで段階的に行ってまいります。

時 期		2010年度末	2012年度末	2013年度末
最高速度	大宮～宇都宮 (現行：240km/h)	<u>275km/h</u>	275km/h	275km/h
	宇都宮～盛岡 (現行：275km/h)	<u>300km/h</u>	<u>320km/h</u>	320km/h
到達時分 (東京～新青森間 最速列車)		3時間10分程度	3時間5分程度	
高速運転を行う列車		新型「はやて」300km/h	・ 新型「はやて」320km/h ・ 新型「はやて・こまち」 併結編成 300km/h	新型「はやて・こまち」 併結編成 320km/h

高速運転を行う列車本数は、2010年度末には「はやて」2～3往復程度とし、2013年度末には現行の「はやて・こまち」はすべて高速化する予定です。

具体的な列車の設定については今後検討してまいります。